

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	80.0%	自校A B層の割合	70.0%
目標達成に向けた取組				
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立	
学校全体の取組	○「学び合い」を重視した授業の実践をする。（A→教えることで学びの定着 CD→教えられることでの学びの定着） ○教科指導の専門性向上→教科担任制を推進する。 ○一人1台端末を活用した授業の実践をする。→研修機会の充実 ○若手教師勉強会（わかば研・青葉研）を充実させる。→積極的な校内授業見学の実施。 ○ゴールを明確にした単元計画を作成する。	○放課後補習教室や東京ベーシックドリルを活用し、基礎基本の定着を図る。 ○学年×10分程度の宿題を出し、家庭学習の習慣を定着させる。 ○デジタルドリル「ミライシード」の活用をする。	○清新一小学習スタンダードを定着させ、学習規律を徹底する。 ○「学び合い」を実現させるための環境づくりの整備をする。→規律と思いやりのある学級経営 ○年間3回の家庭学習週間を設定し、家庭への啓発を図る。	
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	○支援が必要な児童の把握と個々の学力向上に向けたアプローチ計画を立て、実施する。（本人や保護者との個人面談） ○支援に向けてのフォローアップを取り入れた授業内容にする。	○支援が必要な児童の学習状況を把握し、放課後補習事業者と連携して、実施する。 ○「ミライシード」の活用状況を把握し、苦手分野の復習を実施する。	○家庭学習の状況を把握し、目標達成に向けて、本人や家庭への働きかけを継続する。	
成果指標	○全国学力調査「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」 ○「国語・算数の授業内容はよくわかりますか」の回答割合→95%以上	○東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成者→80%以上	○全国学力調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」できる以上の回答割合→80%以上	